

---

<凡例>

1. 各種データベース等を利用し、田北耕也が執筆した文献の情報を可能な限り網羅的に収集・記載することに努めた。原則として存在の有無を現物により確認したが、確認できない場合は末尾に【】としてデータベース名等の情報源を記載した。また、公刊されていない私製版や報告書等も含めた。
  2. 配列は刊行年月日順とした。ただし、刊行年月日が不明の場合は可能性のある年代の末尾に記載した。また、刊行年月が同一の場合は収録誌・書のタイトルの五十音順とし、同一収録誌・書の同一巻号内は掲載ページ順とした。
  3. 雑誌・新聞に収録された論文・記事等の冒頭には「・」を付し、単行書または図書に収録された論文・記事等には「●」を付した。
  4. 過去に刊行された記事・論文等が後年他に再録された場合も都度記載した。ただし、過去に刊行された図書等の単なる復刊・復刻の場合には現物確認した版のみ記載し、存在する異版情報はその末尾に記載した。
  5. 旧字・新字の区別については、原則として各種データベースや現物等の情報源に掲載されているママとした。
-

- ・「二歳児の形態知覚に関する一実験」 田北耕也(心理学研究)3(4), p. 84-91, 1928. 8
- 田北耕也「黒崎地方の旧キリシタン」(昭和 5(1930)年帝国学士院第一回報告書添付原稿), [1930(公表未確認)]  
【(生月町博物館 島の館たより)9】
- ・「黒崎地方の舊切支丹」 田北耕也(宗教研究) 新 8(4)(通号 62), p. 117-132, 1931. 7
- ・「末期にある黒崎地方の舊切支丹」 田北耕也(宗教研究) 新 8(5)(通号 63), p. 83-100, 1931. 9
- ・「舊きりしたんの研究(一) : 特別附録」 田北耕也(奈雅瑤奇)1(1), p. 1-28+写真等, 1932. 1
- ・「三ざる一行願」 田北耕也(光(一燈園))122, p. 38, 1932. 2 【ざっさくプラス】
- ・「信教自由を知らぬ三万人」 田北耕也(読売新聞)p. 4, 1932. 7. 3 朝刊
- ・「光泉林の夏の集り」 田北耕也(光(一燈園))129, p. 60, 1932. 9 【ざっさくプラス】
- ・「舊きりしたんの研究(二) : 資料の発見」 田北耕也(奈雅瑤奇)1(2), p. 1-34+折込地図 1 枚, 1932. 10
- ・「残された教育 : 昔の生徒に送る手紙」 田北耕也(光(一燈園))138, p. 46, 1933. 6 【ざっさくプラス】
- ・「夏の集りを前にして」 田北耕也(光(一燈園))139, p. 45, 1933. 7 【ざっさくプラス】
- ・「学園便り」 田北耕也(光(一燈園))140, p. 66, 1933. 8 【ざっさくプラス】
- ・「夏の集りを顧て」 田北耕也(光(一燈園))141, p. 70, 1933. 9 【ざっさくプラス】
- ・「学園たより」 田北耕也(光(一燈園))142, p. 84, 1933. 10 【ざっさくプラス】
- ・「学園たより」 田北耕也(光(一燈園))143, p. 62, 1933. 11 【ざっさくプラス】
- ・「長崎縣下舊キリシタンの現状(第 2 回日本宗教学大会, 1933. 5. 7-8, 大正大学)」(第 2 回日本宗教学大会紀要 : 宗教研究)通号 79, 1933. 12, p. 141-145
- ・「国際人としての天香師」 田北耕也(光(一燈園))144, 1933. 12 【ざっさくプラス】
- ・「学園たより」 田北耕也(光(一燈園))145, p. 66, 1934. 1 【ざっさくプラス】
- ・「学園エクステンション」 田北耕也(光(一燈園))146, p. 66, 1934. 2 【ざっさくプラス】
- ・「燈園学園の半年」 田北耕也(光(一燈園))147, p. 48, 1934. 3 【ざっさくプラス】
- ・「下坐の教育」 田北耕也(光(一燈園))149, p. 51, 1934. 5 【ざっさくプラス】
- ・「夏の集り講演傍聴記」 田北耕也(光(一燈園))153, p. 63, 1934. 9 【ざっさくプラス】
- ・「行余の学園」 田北耕也(光(一燈園))154, p. 56, 1934. 10 【ざっさくプラス】
- ・「奇しきかなお光の工作 : 本誌愛読者井野千鶴子の死に因みて」 田北耕也(光(一燈園))155, p. 34, 1934. 11 【ざっさくプラス】
- ・「児童の野菜売り」 田北耕也(光(一燈園))157, p. 52, 1935. 1 【ざっさくプラス】
- ・「大衆の知らぬ西田天香氏」 田北耕也(光(一燈園))158, p. 50, 1935. 2 【ざっさくプラス】
- ・「キリスト教徒の見た一燈園 : デウイス博士来訪の事など」 田北耕也(光(一燈園))164, p. 73, 1935. 8 【ざっさくプラス】
- ・「昭和十年夏の集り」 田北耕也(光(一燈園))165, p. 58, 1935. 9 【ざっさくプラス】
- ・「竹水さんの切支丹研究」 田北耕也(光(一燈園))170, p. 48, 1936. 2 【ざっさくプラス】
- ・「子供のよみもの」 田北耕也(光(一燈園))170, p. 70, 1936. 2 【ざっさくプラス】
- ・「本格的六万行願の事始め」 田北耕也(光(一燈園))171, p. 52, 1936. 3 【ざっさくプラス】
- ・「小学生の六万行願」 田北耕也(光(一燈園))172, p. 55, 1936. 4 【ざっさくプラス】
- ・「うちの小学生さん」 田北耕也(光(一燈園))173, p. 34, 1936. 5 【ざっさくプラス】
- ・「夏の集まり御案内」 田北耕也(光(一燈園))174, p. 66, 1936. 6 【ざっさくプラス】
- ・「光泉林たより」 田北耕也(光(一燈園))176, p. 69, 1936. 8 【ざっさくプラス】
- ・「光泉林大学の基礎」 田北耕也(光(一燈園))180, p. 27, 1936. 12 【ざっさくプラス】

- ・「伊王島切支丹の社會的研究」田北耕也(神学研究)29(3), p. 117-135, 1938. 6
- ・「日本人としてのカトリク教の理解」田北耕也(聖母の騎士)9(6), p. 180-183, 1938. 6
- ・「舊切支丹の秘書「天地始之事」(一)」田北耕也(カトリック)18(7), p. 69-89, 1938. 7
- ・「カトリク教の常識」田北耕也(聖母の騎士)9(8), p. 240-242, 1938. 8
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)9(10), p. 297-301, 1938. 10
- ・「舊切支丹の秘書「天地始之事」(二)」田北耕也(カトリック)18(9), p. 108-132, 1938. 11
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)9(11), p. 333-338, 1938. 11
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)9(12), p. 365-372, 1938. 12
- ・「潜伏キリシタンに於けるカトリク教の郷土化(日本宗教学会第5回大会, 1938. 10. 29-30, 立教大学)」田北耕也(日本宗教学会第5回大会紀要: 宗教研究)103, p. 207-212, 1938. 12
- ・「舊切支丹の秘書「天地始之事」(三)」田北耕也(カトリック)19(1), p. 94-115, 1939. 1
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)10(1), p. 16-20, 1939. 1
- ・「舊切支丹の秘書「天地始之事」(四)」田北耕也(カトリック)19(2), p. 101-120, 1939. [2]
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)10(2), p. 18-21, 1939. 2
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)10(3), p. 20-22, 26, 1939. 3
- ・「座談 一燈園とカトリク教」(聖母の騎士)10(4), p. 18-23, 1939. 4(田北耕也と記者との一問一答)
- ・「實話 求道の人々」田北耕也(声)760, p. 54-56, 1939. 5
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)10(5), p. 12-13, 1939. 5
- ・「島のきりしたんをたづねて」田北耕也(聖母の騎士)10(6), p. 18-21, 1939. 6
- ・「カトリク教における懺悔の生活」田北耕也(聖母の騎士)10(8), p. 20-23, 1939. 8
- ・「諸宗の眞髓とカトリク教」田北耕也(聖母の騎士)10(10), p. 2-5, 1939. 10
- ・「日本布教の一轉機」田北耕也(聖母の騎士)10(11), p. 4-6, 1939. 11
- ・「舊キリシタンの秘書「御らっしょ」」田北耕也(宗教研究)季刊1(4)(通号102), p. 267-293, 1939. 12
- ・「非常時下のクリスマス」田北耕也(聖母の騎士)10(12), p. 4-6, 1939. 12
- ・「非常時と女部屋: 戦時物資活用協會發會式の實況放送を聞きつゝ」田北耕也(声)767, 10-18, 1940. 1
- ・「年頭の黙想」田北耕也(聖母の騎士)11(1), p. 2-3, 1940. 1
- ・「絶景の大山に祈り働く人々」田北耕也(声)768, p. 68-72, 1940. 2
- ・「殉教者の心理」田北耕也(聖母の騎士)11(2), p. 2-4, 1940. 2
- 田北耕也「はなれ(舊キリシタン)」『カトリック大辭典(1)』上智大學, 獨逸ヘルデル書肆共編(富山房, 1940)p. 718-723
- ・「時局教育の第一線を行く宗教者への警鐘! 土浦航空隊を見る教育界への問題!」田北耕也(声)791, p. 20-25, 1942. 1
- ・「清貧の日本的性格その他」田北耕也(声)797, p. 45-48, 1942. 8
- ・「愛の實行から宗教教育へ: 宗教教育實施の一案としての寮舎設立」田北耕也(声)802, p. 44-45, 1943. 1
- ・「知事さんと玄米」田北耕也(声)804, p. 49-51, 1943. 3
- ・「お祈りの味」田北耕也(聖母の騎士)12(6), p. 7-9, 26, 1947. 6
- ・「産兒制限の害」田北耕也(聖母の騎士)12(9), p. 19-25, 1947. 9
- ・「産兒制限の宣傳に乗るな」田北耕也(聖母の騎士)12(10), p. 15-19, 32, 1947. 10
- ・「祈りを味う」田北耕也(聖母の騎士)12(11), p. 13-17, 28, 1947. 11
- ・「我等の父よ」田北耕也(聖母の騎士)13(1), p. 15-16, 1948. 1

- ・「聖フランシスコ・ザベリオの日本に對する功績」 田北耕也(聖母の騎士)14(6), p. 18-19, 1949. 6
- ・「祈りの力は世界を動かす」 田北耕也(聖母の騎士)14(8), p. 28, 1949. 8
- ・「この五六十年に大發展をした北松のキリシタン部落」 田北耕也(声)865, p. 25-31, 1949. 10
- ・「奇蹟と科學」 田北耕也(聖母の騎士)14(12), p. 15, 1949. 12
- William D. Ryan, 田北耕也著『聖フランシスコ・ザベリオ = Saint Francis Xavier : founder of Christianity in Japan』(南山学園教養社, 1949)
- ・「聖年をむかえて」 田北耕也(聖母の騎士)15(1), p. 6-8, 1950. 1
- ・「家庭の尊重」 田北耕也(聖母の騎士)15(3), p. 22, 1950. 3
- ・「教會中心の生活」 田北耕也(聖母の騎士)15(4), p. 7-9, 1950. 4
- ・「二十年前の七騎士」 田北耕也(聖母の騎士)15(5), p. 4-7, 1950. 5
- ・「天主の十戒」 田北耕也(聖母の騎士)15(6), p. 6-8, 1950. 6
- ・「日本は迷信國か？」 田北耕也(聖母の騎士)15(7), p. 8-10, 1950. 7
- ・「平和を」 田北耕也(聖母の騎士)15(8), p. 3-5, 1950. 8
- ・「愛神 愛人 愛犬」 田北耕也(聖母の騎士)15(9), p. 11-15, 1950. 9
- ・「日本再建とキリスト教(前)」 田北耕也(声)875, p. 13-18, 1950. 10
- ・「生活の謙遜」 田北耕也(聖母の騎士)15(10), p. 12-13, 1950. 10
- ・「日本再建とキリスト教(後)」 田北耕也(声)876, p. 12-17, 1950. 11
- ・「不老不死の仙境」 田北耕也(聖母の騎士)15(11), p. 4-6, 1950. 11
- ・「盲目的な母の愛」 田北耕也(聖母の騎士)15(12), p. 26-28, 1950. 12
- ・「佛教の懺悔とカトリックの告白」 田北耕也(聖母の騎士)16(2), p. 7-10, 1951. 2
- ・「罪」 田北耕也(声)883, p. 34-35, 1951. 6
- ・「キリシタン現地報告(一) : プロローグ」 田北耕也(声)885, p. 34-37, 1951. 8
- ・「キリシタン現地報告(二) : サンジュアンさまの歌」 田北耕也(声)888, p. 20-22, 1951. 10
- ・「キリシタン現地報告[(三)] : サンジュアンさまのお水」 田北耕也(声)890, p. 43-47 1951. 12
- ・「殉教の聖徒 高山右近(3) : ゴルゴダに続くマニラ渡航」 ヨハネス・ラウレス[著], 田北耕也抄訳(中日ウィークリー) p. 4, [1952. 1. 23]
- ・「生月の十一ヶ條 : もろもろのキリシタン知るべき條々の事」 田北耕也(アカデミア)1(1), p. 164-188, 1952. 1
- ・「キリシタン現地報告(四) : サンジュアンさまの墓」 田北耕也(声)891, p. 32-34, 1952. 1
- ・「(隨筆)聖母の七騎士」 田北耕也(世紀)33, p. 37-39, 1952. 4
- ・「キリシタン現地報告(五) : アントウ様の殉教」 田北耕也(声)894, p. 93-95, 1952. 5
- ・「(紹介と批評)司教 浦川和三郎著「五島キリシタン史」」 田北耕也(アカデミア)3, p. 104-108, 1952. 10
- ・「生月キリシタンに見るカトリック教の郷土化(第 11 回學術大会, 天理大学, 1951. 10. 19-21)」 田北耕也(宗教研究)131, p. 173-174, 1952. 10
- ・「奈留島のキリシタン(第 12 回學術大会, 立教大学, 1952. 10. 18-19)」 田北耕也(宗教研究)133, p. 390-392, 1952. 12
- ・「二月五日の祝い方」 田北耕也(聖母の騎士)18(2), p. 15-17, 1953. 2
- ・「旧キリシタンの納戸神とその由来」 田北耕也(宗教研究)135, p. 73-107, 1953. 9
- ・「バステヤン暦と潜伏キリシタンの信仰」 田北耕也(基督教史学)4, p. 215-248, 1953. 12
- ・「西九州キリシタン研究の諸問題(第 13 回學術大会, 同志社大学, 1953. 10. 9-10)」 田北耕也(宗教研究)137, p. 180-181, 1953. 12

- 田北耕也「バステヤン暦と潜伏切支丹の信仰」『切支丹史論叢』基督教史学会編(小宮山書店, 1953)p. 215-248
- ・「潜伏キリシタンのマリア観〔上〕」田北耕也(声)919, p. 34-38, 1954. 6
- ・「生月旧キリシタン現行オラシヨの復元」田北耕也(アカデミア)7, p. 119-164, 1954. 7
- ・「潜伏キリシタンのマリア観(下)」田北耕也(声)920, p. 27-32, 1954. 7
- ・「日本の一農村におけるキリスト教の変容」田北耕也(民族學研究)18(3), p. 195-226, 1954. 7
- ・「神主の参加するキリシタン行事(第 14 回学術大会, 1954. 10. 11-13, 早稲田大学)」田北耕也(宗教研究)142, p. 337-338, 1954. 12
- 田北耕也『昭和時代の潜伏キリシタン』(日本學術振興会, 1954)
- ・「納戸神大祭当事者の記録」田北耕也(アカデミア)10, p. 175-192, 1955. 6
- ・「旧キリシタンの納戸神中心の宗団組織と宮座の関係について」(日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事, 第 8 回), p. 51-52, 1955. 7
- ・「長崎県生月島の納戸神の映画」(日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事, 第 9 回), p. 73, 1955. 10
- ・「潜伏キリシタンにおけるキリスト観の下降とマリア観の俗化」田北耕也(人類科学)8, p. 29-45, 1956. 3【ざっさくプラス】
- ・「潜伏キリシタンにおける教会組織及び典礼の変容」田北耕也(基督教史学)7, p. 30-42, 1956. 10
- ・「(紀行文)フオスターのことなど : ケンタツキーの聖地を往く」田北耕也(声)952, p. 14-18, 1957. 4
- ・「ワシントンの桜まつり」田北耕也(聖母の騎士)22(11), p. 12-13, 1957. 11
- ・「ローマでの奇遇」田北耕也(聖母の騎士)22(11), p. 14-16, 1957. 11
- ・「文化変容の場としてのキリシタン部落」田北耕也(キリシタン文化研究会会報)復刊(5), p. 1-2, 1957. 12
- ・「檜山節考の宗教性を探る」田北耕也(世紀)93, p. 7-15, 51, 1957. 12
- ・「キリスト教の日本的文化変容」田北耕也(宗教研究)155, p. 438-461, 1958. 3
- ・「文化変容の場としてのキリシタン部落」(日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事, 第 12 回), p. 145-148, 1958. 10
- ・「国際宗教史学大会うらおもて」田北耕也(世紀)103, p. 10-14, 1958. 11
- ・「キリシタン信仰の民間下降」田北耕也(キリシタン文化研究会会報)復刊 2(7), p. 9-11, 1959. 3
- ・「ラウレス師の靈に捧げる」田北耕也(キリシタン文化研究会会報)復刊 3(1・2), p. 12-13, 1959. 10
- 田北耕也「求道二十年」『なぜ私たちは信じたか』安田貞治編(吉祥寺カトリック教会, 1959)p. 1-30
- ・「かくれキリシタン内外の最近の動き」田北耕也(キリシタン文化研究会会報)復刊 3(3), p. 12-13, 1960. 1
- ・「青鉛筆〔十字架仏〕」田北耕也(〔朝日新聞〕), [1960. 3. 13 朝刊]
- ・「かくれキリシタン研究の発展 : 古野清人教授の近著に因んで」田北耕也(キリシタン文化研究会会報)復刊 3(4), p. 10-13, 1960. 3
- ・「<<研究報告>>インドにおけるカトリックと共産主義者との斗争(第 18 回学術大会, 1959. 10. 16-18, 関西学院大学)」田北耕也(宗教研究)33(3), p. 43-44, 1960. 3
- 田北耕也「求道二十年」『神との出会い : 21 人の回心記』安田貞治編(春秋社, 1960)p. 30-49
- 田北耕也「五島の切支丹」『切支丹風土記 : 九州編』片岡弥吉他著(宝文館, 1960)p. 283-333
- ・「なぜ大本教に」田北耕也(声)1009, p. 46-50, 1961. 12
- ・「宗教と文化 : 国際的宗教行脚から帰って」田北耕也(〔中日新聞〕), [1963. 1. 13]
- ・「富士山を刻んだ十字架(こころのページ)」田北耕也(朝日新聞)p. 26, [1963. 2. 17]
- ・「一キリスト者の俳句私語」田北耕也(俳句研究)31(7), p. 12-17, 1964. 7【CiNii】
- ・「根本問題と取組もう(こころのページ)」田北耕也(朝日新聞)p. 24, 1964. 11. 29

- ・「家庭的な大学を(閑話)」田北耕也([中日新聞])p. 9, 1965. 5. 1[夕刊]
- ・「雪のサンタ丸ヤ(こころのページ)」田北耕也(朝日新聞)p. 24, 1965. 9. 5
- ・「Study of acculturation among the secret Christians of Japan [I](潜伏キリシタンにおける文化変容の研究)」Koya, TAGITA(名古屋女子商科短期大学紀要)1, p. 141-158, 1965. 10
- ・「Study of acculturation among the secret Christians of Japan [II](潜伏キリシタンにおける文化変容の研究)」Koya, TAGITA(名古屋女子商科短期大学紀要)2, p. 123-139, 1966. 4
- ・「Study of acculturation among the secret Christians of Japan [III](潜伏キリシタンにおける文化変容の研究)」Koya, TAGITA(名古屋女子商科短期大学紀要)3, p. 95-123, 1966. 10
- ・「コルベ神父に学ぶ土着と超越(コルベ神父帰天二五周年記念講演, 1966. 10. 4, 聖母の騎士修道院)」田北耕也(聖母の騎士)31(12), p. 24-27, 1966. 12
- ・「Study of acculturation among the secret Christians of Japan IV(潜伏キリシタンにおける文化変容の研究)」Koya, TAGITA(名古屋女子商科短期大学紀要)4, p. 61-86, 1967. 4
- ・「「天地始りの事」における宗教の出会いについて」田北耕也(同朋学報)16, p. 1-9, 1967. 12
- 田北耕也「五島の切支丹」『きりしたんの愛と死 : その歴史と風土と(上)』助野健太郎[ほか]編著(東出版, 1967)p. 283-333
- ・「天理図書館所蔵の潜伏キリシタン資料を周って」田北耕也(ビブリア)39, p. 33-40, 1968. 7
- ・「中部キリシタン史に見る日本人の世界性」田北耕也(同朋学報)18・19 合併号, p. 50-90, 1968. 12
- 田北耕也『キリシタン史中の人物』(謄写版)([田北耕也], [196-])
- ・「隠れキリシタンの秘書「天地始之事」の評価」田北耕也(西日本宗教学雑誌)1, p. 120-122, 1970. 7
- ・「かくれキリシタン(四〇〇字)」田北耕也([朝日新聞])[9面], [1970. 8. 29 夕刊]
- 田北耕也校注「天地始之事」『キリシタン書 ; 排耶書』(日本思想大系;25)海老沢有道[ほか]校注(岩波書店, 1970)p. 381-409
- ・「芸術と宗教 : 俳句初学の現場から」田北耕也(世紀)249, p. 37-43, 1971. 2
- ・「愛と祈りで征服された話 : コルベ神父列福に当って」田北耕也(聖母の騎士)37(10), p. 2-5, 1971. 10
- ・「拜啓 コルベ神父様」田北耕也(聖母の騎士)37(11), p. 6-8, 1971. 11
- ・「隠れキリシタン残存から得た教訓(第4回キリシタン文化講演会, 1972. 6. 3, 南山大学)」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)4, p. 29-30, 1972. 9
- ・「不干斎ハビヤンの行衛(第9回キリシタン文化講演会, 1974. 12. 7, 南山大学)」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)9, p. 69-71, 1975. 1
- ・「キリシタン俗書の神秘 : 仏教における神秘思想」田北耕也(日本仏教学会年報)40, p. 297-313, 1975. 3
- ・「排耶のアイロニー : その一 新写本の紹介」田北耕也(西日本宗教学雑誌)4, p. 1-16, 1975. 7
- ・「音楽レコード『洋楽事始』(講演タイトルは「皆川達夫教授のレコード音楽『洋楽事始』について)」(第13回キリシタン文化講演会, 1976. 12. 4, 南山大学)」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)13, p. 105-106, 1977. 1
- 田北耕也『昭和時代の潜伏キリシタン』([3版])(国書刊行会, 1978)
- 田北耕也『信仰の表現と宗教』([田北耕也], [1979])
- ・「遠藤文学の将来に期待して(第19回キリシタン文化講演会, 1979. 12. 8, 南山大学)」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)19, p. 152, 1980. 4
- ・「コルベ神父と貧乏生活を共にした : かくれ切支丹研究家・田北耕也さん(この人'80)」(聖母の騎士)46(5), 裏表紙 1980. 5

- ・「騎士から学ぶ(生活)」田北耕也(聖母の騎士)46(8), p. 12-13, 1980. 8
- ・「ロザリオの思い出(道標)」田北耕也(聖母の騎士)46(10), p. 1, 1980. 10
- ・「いろは歌のエクメニズム(道標)」田北耕也(聖母の騎士)46(11), p. 1, 1980. 11
- ・「キリスト教の世界性と民族性(道標)」田北耕也(聖母の騎士)46(12), p. 1, 1980. 12
- ・「一富士とキリストの栄光(道標)」田北耕也(聖母の騎士)47(1), p. 1, 1981. 1
- ・「キリシタン日本の矜持(道標)」田北耕也(聖母の騎士)47(2), p. 1, 1981. 2
- ・「片岡弥吉教授の霊に捧ぐ」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)別冊, p. 76-80, 1981. 2
- ・「春の上り」と「お告げ」(道標)」田北耕也(聖母の騎士)47(3), p. 1, 1981. 3
- ・「キリシタンの世界性(きょうのいす)」田北耕也([中日新聞]), [1981. 7. 5]
- ・「教会暦生活の恩恵(道標)」田北耕也(聖母の騎士)47(7), p. 1, 1981. 7
- ・「キリシタンのうたい」田北耕也(名古屋キリシタン文化研究会会報)29, p. 234, 1985. 1
- 田北耕也「キリスト教と民俗」『信仰と民俗』(日本民俗学大系;8)(復刊)(平凡社, 1985)p. 393-406 (1959 初版、1976 覆刻版あり)
- ・「悟りから恩恵へ」田北耕也(声)1285, p. 48-51, 1986. 11
- ・「大浦に聖母像あり初日の出: コルベさんとの同居生活(私の中のコルベ神父①)」田北耕也(聖母の騎士)53(1), p. 25, 1987. 1
- ・「アンジェラス侍てば梅光身を包む(私の中のコルベ神父②)」田北耕也(聖母の騎士)53(2), p. 15, 1987. 2
- ・「生前が死後につながる春彼岸(私の中のコルベ神父③)」田北耕也(聖母の騎士)53(3), p. 15, 1987. 3
- ・「桜桃にて花隠す納戸神(私の中のコルベ神父④)」田北耕也(聖母の騎士)53(4), p. 15, 1987. 4
- ・「天に昇り地に有りて在り聖五月(私の中のコルベ神父⑤)」田北耕也(聖母の騎士)53(5), p. 17, 1987. 5
- ・「死体室に住みて甘露や水無月の(私の中のコルベ神父⑥)」田北耕也(聖母の騎士)53(6), p. 30, 1987. 6
- ・「日本に咲く松の花聖母の騎士(私の中のコルベ神父⑦)」田北耕也(聖母の騎士)53(7), p. 13, 1987. 7
- ・「敗戦の平和ぞ聖母被昇天(私の中のコルベ神父⑧)」田北耕也(聖母の騎士)53(8), p. 15, 1987. 8
- ・「太郎かな秋の彼岸の龍宮城(私の中のコルベ神父⑨)」田北耕也(聖母の騎士)53(9), p. 15, 1987. 9
- ・「天高しバチカン広場 方石塔(私の中のコルベ神父⑩)」田北耕也(聖母の騎士)53(10), p. 17, 1987. 10
- ・「霜月ややまとの奥の月瀬川(私の中のコルベ神父⑪)」田北耕也(聖母の騎士)53(11), p. 15, 1987. 11
- ・「除夜の鐘残す一つの餘白かな(私の中のコルベ神父⑫)」田北耕也(聖母の騎士)53(12), p. 13, 1987. 12
- 田北耕也『キリシタン史概説』(謄写版), ([田北耕也], [19--])
- 田北耕也「五島の切支丹」『キリシタン迫害と殉教の記録(上巻)』助野健太郎, 山田野理夫編(フリープレス, 2010)p. 283-333
- 皆川達夫, 田北耕也[述]「特別再録 隠れキリシタン発見余聞」『天地始まりの聖地: 長崎外海の潜伏・かくれキリシタンの世界』松川隆治[ほか]編(批評社, 2018)p. 248-269
- ・「手ごたえのある祈り」田北耕也【20世紀メディア情報データベース】
- ・「祈る生活」田北耕也【20世紀メディア情報データベース】
- ・「紀行: 浅子のキリシタン」田北耕也【20世紀メディア情報データベース】
- ・「永井隆先生「ロザリオの鎖」を讀みて」田北耕也【20世紀メディア情報データベース】
- ・「心と魂」田北耕也【20世紀メディア情報データベース】

以上